

2020年度公立学校教員採用選考1次選考実施状況

Table with columns for Prefecture (実施自治体), School Type (校種), and various subjects (国語, 社会, 数学, etc.). Rows list 47 prefectures including Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Choshi, Niigata, Toyama, Ishikawa, Fukui, Yamanashi, Nagano, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, and Okinawa. Each row contains numerical data for various categories and a final status column.





## 《北海道・東北》

【北海道】高校「その他」は水産。

【岩手県】高校「その他」は次のとおり▽水産：受験者2人、合格者2人▽福祉：受験者4人、合格者2人。採用見込者は次のとおり▽小・中学校230人程度▽高校・特支80人程度▽養護30人程度▽栄養若干。

【宮城県】中学校「技術」「英語」の採用見込者数は中学校小計に含む。「保健体育」「音楽」「美術」「家庭」については「中・高」の学校種で募集し、採用予定者数は中学校採用見込者数105人と高校採用見込者数60人を含むものとなる(表記については「中学校」に記載)。小学校には「地域枠気仙沼」4人、「地域枠東部」5人、「特別支援学校枠」10人、「英語枠」15人を含む。中学校、中・高、高校には「特別支援学校枠」各若干人を含む。高校「地歴」「公民」「高校理科」は、それぞれ一括して公表。

【仙台市】高校は科目ではなく、「地理・歴史」「理科」「工業」として募集している。特別支援学校は、他校種の中から任用することとしており、特別支援学校の枠を設けての募集はしていない。

【秋田県】採用見込者数は目安。高校「その他」は福祉。高校「工業」には社会人特別選考を含む。

【山形県】採用見込者数は目安。高校「地歴」「公民」は、「日本史・世界史」「公民」の区分で実施。高校「工業」は次のとおり▽機械：受験者6人、合格者3人▽電気：受験者3人、合格者3人▽工業化学：受験者4人、合格者3人。

## 《関東》

【茨城県】高校「その他」は次のとおり▽水産：志願者2人、1次受験者0人、1次合格者0人、1次免除者0人、採用予定者2人▽福祉：志願者3人、1次受験者3人、1次合格者3人、1次免除者0人、採用予定者2人。

【栃木県】採用見込者数は目安で、小中共通で380人、別枠で次のとおり▽「小学校における英語教育に係る特別選考(英語の免許による一部試験の免除)」で小学校30人▽「特別支援学級担当等の経験により一部試験を免除した選考」で小・中学校全教科合わせて15人。高校の「その他」は理療。

【群馬県】小学校・中学校の採用見込者数は合計350人。外数で実施のため表に含まない障害者特別選考の内訳は次のとおり▽受験者：小学校1人、高校4人▽1次合格者：小学校1人、高校2人。高校「その他」は福祉。

【埼玉県】地理歴史は、科目共通の採用枠のため、合計を地理の欄に記載。公民は、科目共通の採用枠のため、合計を倫理の欄に記載。理科は、科目共通の採用枠のため、合計を物理の欄に記載。

【さいたま市】高校は、中学校の人数に含む(中高共通)。

【千葉県・千葉市】国・社・数・理・音・美・保体・家・英は「中高共通」として実施。中学校・高校の募集数は、校種ごとにまとめた総数。高校「その他」は、福祉・水産。高校「農業」は、園芸・食品製造・畜産・土木造園で個別に実施。高校「工業」は、機械・電気・建設・工業化学で個別に実施。

【東京都】高校「地理」には中高共通(地歴)、「倫理」には中高共通(公民)の受験者等を記載。高校「国語」「社会(地歴・公民)」「数学」「理科(物理・化学・生物)」「英語」「音楽」「美術」「保健体育」は中高共通として募集し、採用見込者数は合計1110人。中学校「音楽」「美術」は小中共通として募集し、採用見込者数は100人。高校「家庭」には、小中高共通として募集し、採用見込者数は30人。高校「その他」は「介護福祉士養成施設校における福祉科担当教員採用候補者特別選考」「東京都立大島海洋国際高等学校の水産担当教員採用候補者特別選考」の受験者等。

【川崎市】国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語については、中高共通です。中学校の採用予定者数について、国語・理科・英語10～15人、音楽5～10人で、中学校全体としては85人程度で募集。

【相模原市】小学校の内訳は次のとおり▽小学校全科：1次受験者198人、1次合格者124人、採用見込者55人、1次倍率1.6倍▽小学校全科(英語コース)：1次受験者11人、1次合格者11人、採用見込者15人、1次倍率1.0倍。中学校には中学校特別支援を含み、内訳は次のとおり▽1次受験者16人、1次合格者12人、1次免除者1人、採用見込者5人、1次倍率1.3倍。今年度より全ての校種・教科を対象に障害者選考を新設し、内訳は次のとおり▽採用見込者2人、志願者2人(小学校全科1人、養護教諭1人)、1次受験者1人(小学校全科)、1次合格者1人。障害者選考を含む総計は下記のとおり▽1次受験者507人(小学校+1)、1次合格者336人(小学校+1)、採用見込者122人(障害者選考+2)。

## 《中部》

【富山県】第1次検査の一部が免除となる受検者は1次選考免除者数として扱わない。

【石川県】1次・2次の区別なく、全ての受験者に全ての試験を実施。中高一括採用のため、中高の受験者数および採用見込数は高校小計に記載。中高教科別の受験者数は未公表。栄養教諭は直接選考と特別選考を実施し、各選考の数は次のとおり▽直接選考：受験者13人、採用見込者若干▽特別選考：受験者6人、採用見込者若干。

【福井県】採用見込者数は目安。「1次選考一部免除」の制度はあるが、1次免除の制度はない。国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保体・家庭・英語は「中高一括募集」のため、中学校の欄に記載。高校「その他」は水産・福祉。

【山梨県】中学校と高校の各教科の採用人数等は非公表。高校の募集教科は国語・地歴(世界史・地理)・公民(政経)・数学・理科(物理・生物)・保健体育・家庭・農業・工業・商業・英語。

【長野県】採用見込者数は目安。採用見込者の総計は、525人+若干。

【静岡県】受験者・合格者には「特別選考数(しずおか教師塾卒塾生対象選考試験、小学校のみ)」「特別支援教育推進枠数」を含む。

【浜松市】1次受験者・1次合格者には併願受験者を含む。発達支援推進教員区分(表には含まず)の採用見込者は10人程度(小中合計)で、内訳は次のとおり▽発達支援推進教員(小学校)：1次受験者20人、1次合格者8人、1次免除者0人▽発達支援推進教員(中学校)：1次受験者8人、1次合格者6人、1次免除者0人。

【愛知県】採用見込者数は目安。高校「その他」は福祉。

【三重県】採用見込者数は目安。高校「その他」は福祉で、内訳は次のとおり▽1次受験者14人、1次合格者9人、1次免除者0人、採用見込者3人。

## 《近畿》

【京都府】高校「看護」は福祉、「その他」は水産。

【京都市】採用見込者数は目安。小学校には幼稚園を含む。特別選考の各人数は各校種・各教科の人数に含む。

【大阪府】1次免除者には1次及び2次免除者を含む。小学校には、小中いきいき連携を含み、内訳は次のとおり▽受験者49人、1次合格者46人、1次免除者21人、採用見込者30人。

【大阪市】高校「理科」は、理科(生物・化学)と理科(物理・化学)の科目別での募集。

【堺市】小学校には「小学校・幼稚園共通」を含む。中学校「英語」には「小中一貫教育推進【英語】」を含む。特別支援学校の採用見込者数は中学校に含む。1次免除者には「1次試験は受験するが、合否判定をせずに2次試験へ進む選考区分の受験者」を含む。

【兵庫県】小学校には特別支援学校採用枠(1次合格者36人、1次免除者5人、採用見込者20人)を含む。中学校小計には、中学校特別支援学校枠(1次合格者32人、1次免除者1人、採用見込者20人)を含む。

【神戸市】中学校及び高校は共通採用で、中学校小計が中高の合計値。高校小計には高校採用のみの工業・商業。中学校及び高校の採用見込者数は、工業と商業を除き、合計100人を予定。

【奈良県】高校「その他」の内訳は次のとおり▽福祉：受験者2人、1次合格者2人、採用見込者1人▽実習助手：受験者10人、1次合格者5人、採用見込者2人。

【和歌山県】特別支援学校とは別に、特別支援学校・理療を下記のとおり対象としている(特別支援学校には含まない)▽特別支援学校・理療：受験者6人、1次合格者5人、採用見込者2人。

## 《中国・四国》

【鳥取県】採用見込者数は目安。高校「理科」は、「物理・地学」として募集。高校「工業」は「機械」「電気・電子」「建築・土木」として募集。

【島根県】中学校受験者及び合格者数には、特別支援教育担当を含む。受験者数に「障がいのある方を対象とした選考」の受験者数を含む。採用見込者数に「障がいのある方を対象とした選考」の募集人数(3人)を含む。

【岡山県】高校「その他」は福祉。

【広島県・広島市】高校「工業」は機械・電気・建築・土木・化学工学・インテリアの合計。高校「その他」は福祉。

【山口県】高校「その他」の内訳は次のとおり▽水産：1次受験者4人、1次合格者4人、1次免除者0人、採用見込者4人▽福祉：1次受験者5人、1次合格者3人、1次免除者0人、採用見込者1人。表には、障害者を対象とした選考(1次受験者1人、1次合格者1人、1次免除者0人、採用見込者10人)を含まない。

【徳島県】校種共通募集の採用予定数は次のとおり▽小・中学校教諭163人程度▽高校・特別支援学校教諭62人程度。

【香川県】小学校・中学校は、合わせて214人程度の採用を予定している。また、小学校と中学校の併願を可能としており、1次受験者、1次合格者には併願者及び1次免除者を含む。高校・特別支援学校は、合わせて54人程度の採用を予定している。養護教諭の1次受験者及び1次合格者は、小中・高校・特別支援学校の併願者を含む。実人数は1次受験者79人、1次合格者10人、合わせて5人程度を予定している。

【愛媛県】高校「その他」は水産。また高校小計には含まない「福祉」の内訳は次のとおり▽1次受験者2人、1次合格者2人、1次免除者0人、採用見込者若干。

【高知県】高校「その他」は水産(機関)・水産(航海)の合計。

## 《九州・沖縄》

【福岡市】総計には日本語指導教諭(小学校)を含み、内訳は次のとおり▽1次受験者11人、1次合格者10人、1次免除者8人、採用見込者1人、1次倍率1.1倍。

【佐賀県】「倫理」「経済」の別なく「公民」として募集。「工業」は「機械」「電気」「建築」に分けて募集。

【熊本県】小中学校(英語A区分)は小学校に含む。小中学校(英語B区分)は中学校に含む。障がいのある者を対象とした特別選考は含まない。高校「その他」は福祉、水産。

【熊本市】1次免除はないが、試験一部免除あり。小学校は、特別支援教育推進区分(受験者22人、合格者15人、採用見込者5人)を含む。中学校各教科の1次受験者、合格者には、特別支援教育推進枠の人数を含むが、採用見込者には採用する教科が未定のため、特別支援教育推進区分の人数は含まない。中学校(国語)は中高共通の採用枠(中学校5人、高校1人)で実施。幼稚園(一般)区分は受験者19人、合格者8人、採用見込2人。幼稚園(特別支援教育推進)区分は受験者3人、合格者2人、採用見込1人。

【大分県】高校「その他」は水産。今年度より試験区分として「小中連携教諭(英語)」を新設(小中学校連携教諭：1次受験者7人、1次合格者2人、1次免除者0人、採用見込者5人)。

【沖縄県】音楽・美術・家庭は中高共通なので高校の欄に記載し、採用見込者は20人程度。中学校(国語・社会・数学・理科・保健体育・技術・英語)の採用見込者は100人程度。中高共通以外の高校の採用見込者は40人程度。高校「その他」は水産、家庭(調理)。栄養教諭は別試験のため含まない。